

ユニフォームリニューアルに関するお知らせ

東芝プラントシステム株式会社（本社：神奈川県川崎市、取締役社長：小西崇夫、以下「当社」）は昨年10月に創立100周年を迎え、記念するイベントの一環として34年ぶりにユニフォームをリニューアルしました。

新しいユニフォームは10月より順次着用を開始いたします。

社内から選抜された若手従業員9名によりユニフォームリニューアルワーキングを展開し3候補作品を制作。

3作品を動画で紹介するとともに各事業所でも実物を展示し実際に従業員には見て・触れてもらい、全従業員による投票を行なった結果、新ユニフォームを決定いたしました。



【コンセプト】

全従業員向けアンケートの結果を受け『ストレスフリーで多種多様な業務において100%の力を発揮できるユニフォーム』をコンセプトとしました。

【デザイン】

汚れやすい襟元、袖口、パンツに濃色を配したハイブリットなデザインとなっています。コーポレートカラーのブルーを基調としつつ、東芝グループの赤をアクセントとして取り入れ、客先や公共の場でも馴染むベーシックな色調としました。

【機能性】

ストレッチ性が高く消臭機能を持ち、春夏用は接触冷感および UV カット、秋冬用は型崩れしにくいファブリックを採用しました。パンツは動ききを束縛しないよう、スポーツウェアなどに用いられるガゼットクロッチを採用しました。また、暗い場所でも作業中であることを視認できるようリフレクターを配置し、安全面も確保しています。

【多様性】

パンツは設計、施工管理、試験調整など当社従業員がそれぞれの職種に適したものをチョイスできるよう、スラックスタイプとカーゴパンツタイプの2種類を用意しました。

当社グループは強みである EPCC※にお客さま視点に立った価値を掛け合わせて、お客さまが求める『より高度な設備環境の実現』というカタチとなるよう、推進してまいります

※EPCC : Engineering (エンジニアリング)、Procurement (調達)、Construction (建設)、Commissioning (試運転) の略

【本件に関する問合せ先】

東芝プラントシステム株式会社
総務・広報担当

以上